

品笈(しなしゅう)道迷い(2021年11月)

品笈(しなしゅう)へ歩く予定が、行き過ぎたことを登山者に教えてもらう。引き返すも下る尾根を間違え引き返し何とか下山できた。



解説

文殊峠から品笈は標識は一か所のみでほぼなし、今回25000分の一の地図を忘れてしまいました、決行しました。柴原山をすぎたところで、柴原山で休憩されていた方が追い付き聞いたら、すでに通り過ぎていたとのことでした。戻っている途中で別の尾根を下ってしまい、10分程下りたところで、あれ、こんなところだったかな?と不安になり、20分かけて元の峰に上がりました。そこが品シユウでした。下りる尾根が間違っていました。

来るときもまき道を使ったのですが、ピークを通るべきでした。ピークなら覚えていたでしょうから。竜神山まで写真なんか撮る余裕はありませんでした。その余裕のなさが良くないんですね。(HP参照)

「あれっ?おかしい?」と思ったところで、引き返した事例。道迷いの心理は、元の道に戻れないのだが、元の道に戻った行動がよかった。所々迷っているがその都度引き返している。

大きな地図の先読みをすると、「金神社」を通り過ぎないと下山する尾根にはいかないの、手前の尾根で道に迷っているのは、先読みが正しくできていないといえる。初めての場所でも先読みを正しく行えるようになると、行動にも根拠があるため安心して登山ができる。冷静さがあり、地図の先読みができる。そんな読図ができれば楽しい登山となるだろう。